

「メンテナンス・テクノロジー 2009」同時開催

東京ビッグサイト会議室609

**事前
申込み制**

2009年度 PE 最新保全技術調査研究会 研究発表会

復権！設備診断技術

○ 11月19日 (木) 10:30 ~ 14:40 ○ 11月20日 (金) 10:00 ~ 12:10

現在産業界では、「人の問題」「設備老朽化の問題」「IT化やDCS化等による見えにくさ(ブラックボックス)の問題」が、大きな課題となっています。これを背景として、広い意味での「予知保全技術の再到来」が期待されているといえます。

しかし、現実はどうでしょうか？ 本当に適切な診断技術への投資がなされているのでしょうか？ いまこそ、設備診断のエキスパート(とくに予知保全技術)たちが、復権の狼煙を上げるときと考えます。

○ 11月19日 (木) 10:30 ~ 14:40

10:30~11:30	— 基調講演 — プラントの維持管理は「設備診断」に始まる — 設備診断の選択と結果の評価	石丸 裕 氏 (住友ケミカルエンジニアリング)	機器の信頼性の予測に基づく設備の維持管理において、検査、診断結果が定量的にメンテナンスの計画や合理化に結びつくようになっており、その視点から設備診断技術の重要性を再認識してみたい。
11:40~12:10	回転機械の診断技術を駆使した最適整備	劉 信芳 氏 (高田工業所)	診断・解析技術を駆使した短工期、低コスト、高品質な整備を実施する「最適整備」サービスをお客様に提供している。その診断・解析技術の概要と「最適整備」の事例を紹介する。
13:00~13:30	有効な設備診断技術の活用	迫 孝司 氏 (旭化成エンジニアリング)	設備更新もできず老朽化が進む現状において、益々状態監視に基づいた保全管理が望まれている。メンテナンス効果を生み出す運用体制の構築や回転機械に発生する異常に対して有効な診断技術を、事例を交えて紹介する。
13:30~14:00	道路橋の効率的なメンテナンスを支援するBMS (ブリッジマネジメントシステム)	金氏 眞 氏 (鹿島建設)	道路橋には様々な劣化が進行しているが、橋梁毎に材料や環境条件が異なるため劣化予測は容易ではない。定期点検データを元に橋梁毎のLCCを算定し、予算制約に応じて最適維持管理プランを提供するBMSを紹介する。
14:10~14:40	最新のトライボロジー診断 (潤滑剤分析) による状態監視とメンテナンス	四阿佳昭 氏 (新日本製鐵)	トライボロジー診断は油性状やゴミの管理だけでなく摩擦粉診断など機械の劣化を早い段階から的確に把握し、さらに潤滑を最適化し長寿命化も可能。これによる状態監視とプロアクティブメンテナンスについて紹介する。

○ 11月20日 (金) 10:00 ~ 12:10

10:00~10:30	非破壊検査におけるロボット化の取組み	和田秀樹 氏 (新日本非破壊検査)	新日本非破壊検査がこれまでに開発した検査ロボットの開発事例を交えながら、ロボットによる検査ニーズや、安全性など非破壊検査のロボット化への取組みについて紹介する。
10:30~11:00	インバータの劣化診断技術	中原泰男 氏 (富士電機システムズ)	インバータは、汎用から専用機まで多くの種類があるが、基本構成は同じである。各種構成部品に対して、老朽化や設置環境による劣化メカニズムを紹介し、そのメカニズムにそって最近の「インバータにおける劣化診断技術」を紹介する。
11:10~11:40	インバータ駆動モータの軸受電食	砂原賢治 氏 (安川電機)	インバータで駆動するモータの一部で軸受が電食するという問題がある。軸電位が原因と言われているが、それだけでは説明できない現象に遭遇した。そこで軸電位に加え、軸端間電圧に起因する循環電流の影響を調べた。
11:40~12:10	電流徴候解析MCSAIによる回転機械の診断技術	豊田利夫・研究会主査 (日本診断工学研究所)	欧米および国内の石油備蓄プラント等で電動機駆動機械システムの電流徴候解析 MCSAI (Motor Current Signature Analysis) による異常診断が実用されて効果をあげている。ここではその診断原理と効果事例を紹介する。

参加料金

- テキスト料金を含みます
- 昼食は、含まれておりません

11月19日・20日

・日本プラントメンテナンス協会 会員 ・PE最新保全技術調査研究会の 関係学協会会員	17,850 円/1人 (本体価格17,000円)	事前 申込み制
上記会員外	25,200 円/1人 (本体価格24,000円)	

● 会員外の方は、この機会にぜひ当会へのご入会をご検討ください

参加お申込み方法・参加料お支払い方法

- 下記の申込み書に必要事項をご記入のうえ、ファクシミリにてご送付ください。
電話のみでの申込みは受け付けておりません
- 開催の約2週間前より、参加者様あてに参加証・請求書をお送りいたします。
請求書が届き次第、当会指定の銀行口座にお振り込みください。
なお、振込み手数料は貴社にてご負担ください。お支払いは、原則として開催前日
までにお願います
- 開催日間際のお申込みで、参加証が届かない場合はご連絡ください。
参加証のコピーをファクシミリいたします

定員

会場のキャパシティから、定員となり次第、締切りとさせていただきます。

参加お申込み期限

申込み期限:2009年11月10日(火)とさせていただきます。
(開催日の7日前です)

● 申込み・問合せ先

〒108-0074 東京都港区高輪3-26-33 品川ビル8階
社団法人日本プラントメンテナンス協会 研究開発本部

FAX 03-6409-2710 電話 03-6409-2703

url : <http://www.jipm.or.jp/> からも申込みできます

会場

詳細は、下記サイトをご参照ください。
<http://www.bigsight.jp/general/access/index.html>

東京ビッグサイト会議室609



お願い・お断り

ご注意! 今回は、「キャンセル」受付はいたしません!

- 録音・録画に使用する機材の持込みはご遠慮ください
- 参加予定の方が当日お越しになれない場合は、必ず代理の方がご参加くださるなどの対応をお願いします。今回は、会場キャパシティ等の関係で、キャンセル規定の適用はいたしません。予めご了承ください。

メンテナンス・テクノショー2009

「メンテナンス人財開発プラザ」

日本プラントメンテナンス協会は、人財育成・キャリアアッププランの総合展示を行います。

メンテナンス・テクノショー2009の入場事前登録は、
こちらへ ↓↓↓↓
<http://www.jipm.or.jp/mt/index.html>

M-CUP
(Maintenance Career Up Planning)



(注)太線の枠内をご記入ください

参加証とともに請求書をお送りいたします。

参加申込み書

AQ-2215 メンテ技		メンテナンス・テクノショー 2009同時開催		復権! 設備診断技術		PE最新保全技術調査研究会 2009年度研究発表会		参加申込み									
<input type="checkbox"/> JIPM正会員		参加料 (税込み)	日本プラントメン テナンス協会 ● 正会員 ● PE最新保全技術 調査研究会の 関係学協会会員		17,850円 × () 人		合計 円										
<input type="checkbox"/> 関係学協会 学協会名			● 上記会員外		25,200円 × () 人												
<input type="checkbox"/> 上記会員以外																	
ふりがな		ふりがな			備考欄												
会社名		事業場名			(社) 日本プラントメンテナンス協会への連絡・希望事項												
所在地	〒																
	TEL () -	FAX () -															
代表 参加者名 (請求送付先)	ふりがな	所属 役職名			<table border="1"> <tr> <td>受付</td> <td>参加登録</td> <td>請求登録</td> <td>発送</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					受付	参加登録	請求登録	発送				
受付	参加登録	請求登録	発送														
参加者名	ふりがな	所属 役職名															
参加者名	ふりがな	所属 役職名															

■個人情報の取り扱いについて

ここに記入いただいた個人情報は、当協会保有データとして管理させていただきます。また、後日に当協会および当協会関連法人の商品・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。収集した個人情報は、当社プライバシーポリシーに則った安全対策を施し、適切に管理いたします。なお、ご案内の送付中止、および個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当協会ホームページをご参照ください。
● 個人情報に関するお問い合わせ先 : (社) 日本プラントメンテナンス協会 <http://www.jipm.or.jp/privacy.html>